

●調査からみた主要課題

【まちづくり全体】

住民の愛着度は高いものの、定住意向は買物や交通の不便さや就業機会の少なさを背景に半数強にとどまっており、定住意向、すなわち住み良さ、暮しやすさの向上を図るためには、産業の振興による就業機会の確保やまちの活気、保健・医療・福祉の充実、交通利便性の向上などを中心に住民ニーズの充実に努める必要があります。

【分野別】

保健・医療・福祉	介護予防や介護者の負担を軽減するサービスを継続するとともに、在宅サービスの充実など身近な高齢者への支援や見守りに対する取り組みの充実が求められています。
産業振興	農業の担い手育成や農産物のブランド化、集客観光施設などの取り組みを継続するとともに、集落営農などを通じた耕作放棄地対策や高齢者など買物弱者（難民）対策、空店舗の活用、企業誘致の推進、広域観光ルートの開発など、より直接的に住民の目に見える形での産業の活性化が求められています。
生活環境	人口減少、少子高齢化が進行するなか、「定住化」は町の活性化の要であり、宅地開発の推進や町営住宅の改修などの定住化につながる施策へのニーズが相対的に高くなっています。
教育	食育、情報化・国際化に対応した学習機会、さらには地域に開かれた学校づくりなど教育分野における地域との関わりが、より一層求められています。

振興計画審議会委員

◎会長、○副会長

(敬称略)

構成	氏名(校区)
小学校区の区長推薦	森 潤一郎(中央)、前淵恵治(南)、猿渡健志(東)、福田紀夫(西)、江崎正治(緑)、◎福山精一(神尾)、橋本 明(春富)
町議会議長	多賀勝丸(南)
学識経験を有する者又は町長が適当と認める者	小出正泰(中央)、小山 忠(春富)、竹下博昭(緑)、辻 桂一郎(中央)、菊川ヨリ子(中央)、○日永清助(神尾)、増田雅典(東)、今村浩史(神尾)、荒木政士(緑)、高木 始(春富)、高木美智代(西)

基本目標

- すべての人が安心して暮らせるまち【保健・福祉・医療】
- 活力と賑わいのあるまち【産業振興】
- 自然と共生する環境にやさしいまち【環境共生】
- 安全で快適に暮らせるまち【生活基盤・安全防災】
- 明日を拓く人材が育つまち【教育文化】
- 分権社会に対応する自立したまち【協働のまちづくり・行財政運営】
- ユニバーサルデザインの推進



まちづくり総合計画は、まちづくりを進める上での最も上位に位置付けられる計画であり、まちづくりの目標とその実現に向けた方策を示しています。

後期基本計画(期間:平成25年度～平成29年度)内では、生活道路の整備など継続して行う事業は勿論、学校統廃合事業、学校跡地活用、斎場施設の整備、光ブロードバンド整備、宅地分譲など、基本目標の実現に向け各施策に取り組んでいきます。

問い合わせ先 本庁 企画課 企画係 ☎0968・86・5721

和水町まちづくり総合計画 後期基本計画を策定

本町では、平成20年度に第1次和水町まちづくり総合計画をスタートし、基本構想に掲げる将来像「希望(ゆめ)あふれ、人と地域が輝くまち」の実現に向け、前期基本計画に沿って、積極的に各種施策・事業を展開してきました。

前期基本計画が平成24年度までの計画であることから、引き続き基本構想の実現に向けてまちづくりを進めるため、次なる5ヵ年に向けた後期基本計画を策定しました。住民アンケート調査や前期基本計画の施策評価などを実施し、振興計画審議会での審議を経て策定したところです。

次のとおりアンケート調査の結果など、基本計画の一部をお知らせします。

なお、後期基本計画(全体)については、和水町ホームページへ掲載していますので、詳細はこちらをご覧ください。

アンケート調査

●調査概要

調査対象	和水町に居住する18歳以上の住民 1,500人
調査の時期と方法	平成24年6月～7月 郵送による配布・回収
回答者数と回収率	回答者数：677人 回収率：45.1%
前回調査	平成18年9月実施 調査対象は今回と同様 配布数：1,500人 回答者数：753人 回収率：50.2%
満足度と重視度について	和水町の現状に関する21項目に対する満足度と重視度をそれぞれ5段階で質問

●調査結果(抜粋)

区 分	項 目
愛着度	・満足 84.5% ◆感じている+やや感じている
定住意向	・住み続けたい 56.0%
住み続けたくない理由	・日常の買い物が不便 44.0% ・道路事情や交通の便が悪い 32.1% ・町内に適当な職場が少ない 29.4%
今後もっとも重要な項目 上位5位 (「重視度」は高いものの、「満足度」が低い)	・商工業の振興 ・農林水産業の振興 ・行財政の運営 ・生活道路の整備 ・交通安全対策
維持が望まれる項目 上位5位 (「重視度」「満足度」ともに高い)	・高齢者福祉の充実 ・子育て支援の充実 ・保健・医療の充実 ・障がい者福祉の充実 ・ごみ処理対策
前回よりも満足度が減少した項目 上位5項目	・スポーツの振興(増減ポイント▲11.6) ・社会教育(▲8.7) ・文化の振興(▲5.3) ・学校教育(▲3.8) ・コミュニティ活動(▲2.9)